



# バンコク便り



## 1. はじめに

バンコクの9月は雨季真っ只中で年間でも一番降水量が多くなり、最近は大スコールも多くなってきました。先日も買い物に出かけた際に大雨に見舞われ、タクシーに乗れるまで1時間半程かかるなど久しぶりにスコールの大変さを味わいました。激しい降雨の際は未だに歩道まで浸水する地区もあり、バンコクでも排水ポンプや排水路の整備が進められていますが、まだ完全とは言えないようです。

## 2. 当地ビジネス情報

### (タイの高齢化社会について)

タイは現在既に高齢化社会（総人口の7%が65歳以上）を迎えており、2030年には高齢社会（同14%）、2050年までに超高齢社会（同21%）となることが予想されています。そのような中、都市化の進展に伴う生活様式の変化によりタイでも核家族化が進んでおり、一人暮らしをする高齢者が増えるなど高齢者介護事業の参入機会に恵まれた市場であるとされています。また他にも定年後にタイでロングステイする外国人が急増していることから、タイにおける介護ビジネスでは、タイ人高齢者だけでなく外国人高齢者も対象となっています。

このように高齢化の進むタイで、本年8月29日～9月1日の4日間にわたり開催された「CARE EXPO Thailand」では、介護用ベッドや車いすなどの医療・介護機器に加えて、介護施設・サービスを提供する企業の出展や、リタイア後のシニア層に提供される娯楽サービス・製品が幅広く展示されました。更に9月11日～13日にも東南アジア最大規模の医療機器展示会「MEDICAL FAIR THAILAND」が開催され、こちらも多くの来場者で賑わうなど、当該分野の注目度の高さを窺い知ることができました。一方、当事業は成長の可能性は高いものの、足下の市場規模からみて競争が激化することも予想されますので、ご検討の際は十分な調査が必要です。ご関心のある方は下記【連絡先】宛お気軽にお声がけください。

### タイの介護施設及びデイケアセンターの事業機会

ターゲット層	市場規模 (要介護高齢者の割合)	競争	
低・中所得者	14%	低	収益率が低く損益平衡期間が長い大規模企業および外国企業には関心を持たれないセグメントであるが、このセグメントは最も需要が高く、高成長が予測されている。
中・高所得者	3%	中	ニッチではあるが需要が急速成長している分野。今年、タイ政府が政府貯蓄銀行の持ち家担保年金への参入を承認した。このことが中・高所得者の購買力を喚起する可能性がある。
高所得者・外国人	1%未満	高	2020年までにさらに多くの大規模私立病院がこのニッチ市場に参入することが見込まれており、競争が激化することが予想される。



車椅子の性能を確認している様子  
(MEDICAL FAIR THAILAND 内)

出所：カシコン銀行アドバイザーサイト

## 3. 現地トピックス

### (東北6県観光プロモーション開催)

8月24日～25日にバンコクの百貨店イベントスペースで東北観光フェアが開催されました。会場には多くのタイ人が来場し、東北への観光が盛り上がっていることを改めて実感しました。山形県ブースに立ち寄ったタイ人から話を聞いていると、10月末から就航するバンコクー仙台便の効果は大きく、仙台空港からの交通手段や移動時間などを皆さん熱心に調べていました。

同26日には訪タイされた吉村山形県知事とバンコク山形県人会との交流昼食会、27日には東北6県知事・副知事によるトップセールスも行われ、当地旅行会社などに向け各県の魅力を案内されました。今後も山形（東北）とタイとの交流促進の動きが益々拡大していきそうです。



やまがた特命観光・つや姫大使の委嘱  
齋藤県人会長と吉村知事

【本件に関する連絡先】 地方創生部 海外業務 G 石井・高橋・榎 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム (在バンコク)